生駒山暗峠周辺の髪切・鬼取の郷に鬼伝承を訪ねる　2015.1.25.

生駒山上の暗峠をはさむ大阪側　東大阪市髪切　奈良側生駒鬼取
大阪河内と奈良の境を形成して南北に連なる生駒山塊は高さこそ低いが、険しい山で、古くから修験・霊場の山として信仰を集め、山中には今も数多くの霊場・行場がある信仰の山としてよく知られている

国道308号線・古道　奈良街道が生駒山を越えてゆく暗峠周辺の山腹には
「修験道の開祖 役行者が改心させ、従者にした赤鬼・青鬼」の鬼伝承の郷がある





2月　節分が近づくと気になる鬼のこと

「大阪には鬼の伝承　聞かないなぁ ??」　と仲間が言う
大阪には　鬼伝承がないのでしょうか……

大阪のシンボル「生駒山」山塊は古来からの霊峰　修験の山

そして　古代　生駒山は鉱物資源帯で
その山麓には数多くの渡来の技術集団が住む

ふっと気になってチェックすると・・・・・・

いつも見ている生駒山山頂部　暗峠周辺には役行者の鬼伝説が有るという
その地には鬼取山・鬼取町　髪切山・髪切集落の地名がすぐに見つかりました

大阪にも　生駒山に鬼伝承が残っている
2月節分の鬼の時節
古道　旧伊勢街道・奈良街道暗闇峠越の生駒山の暗闇峠の古い家並み
が残る暗峠並びに鬼の伝承地を訪ねました

2015.1.25.　by Mutsu Nakanishi


いつも花園ラクビー場でのラクビー観戦の時、その背後にいつも見る生駒連山　背後正面が国道308号線　古道奈良街道の暗峠越である。 この暗峠周辺に役行者の鬼退治の鬼伝承がある。2月「節分の鬼」にこの大阪の鬼伝承を訪ねました。（この写真は合成です）
生駒山山上
暗峠
髪切
牧岡神社
LIXIL CUP
ラグビーワールドカップ2019



東大阪市花園ラグビー場から眺める　生駒山上　暗峠　　2015.1.24.

生駒山暗峠周辺　東大阪市髪切・生駒市鬼取の郷の鬼伝承



鬼取町から見る生駒山上・鬼取山周辺



髪切山慈光寺の赤鬼・青鬼

大阪と奈良の境、生駒山域に鬼取山というところがあり、そこに人喰い鬼の話がある。
昔、赤目、黄目という夫婦鬼がおり、始はおとなしかったが、やがて人の子供を食べることをおぼえ、村々を荒らしまわった。　村人がこの鬼退治を計画しましたが、髪切山まで行くと、雨が降り風が吹いて近寄れない。どうしても鬼退治ができず困っていました。
そこへ、役行者が来て、鬼の子供をとらえ隠したところ、鬼が一生懸命鬼の子を探したので、役行者がその鬼に、自分の困ることは人の困ることだと説教。
鬼は非を悔いて、髪を切り、行者に従ったという。この2匹の鬼が前鬼・後鬼である。
鬼が髪を切った地が生駒山の東大阪側　暗峠を北西に少し下ったところにある髪切山慈光寺は
　役行者が開祖といい、春の「戸開式」と秋の「戸閉式」には、青鬼と赤鬼に扮装した二人と修験者が石段を駆け上って開山堂の鍵を開け、役行者尊像が開帳される。
また、鬼が役行者に捕らえられた鬼取山は暗峠を東に少し下った
現在頂上にテレビ塔の立っているあたりの生駒谷側北方山腹で、
境内に「薬師の滝」がある元鶴林寺跡と言われている。
「薬師の滝」からは黄金が出ると言う伝承もある。
現在鬼取山鶴林寺はそこから、山を少し下った鬼取集落内にある。



古代から生駒山やその山麓には山岳宗教・鉱山師・渡来の技術集団など異界の存在と思われる人々が数多く　おり、それらの人との接触・交流の中で、この鬼伝承が生まれたのだろうか……。


国道308号線･奈良街道暗峠越MAP 2015.1.25.
近鉄枚岡駅 － 国道308 － 髪切･慈光寺 － 暗峠 － 国道308 － 鬼取町 － 生駒駅
生駒駅
ケーブル宝山寺駅分岐
生駒山
鬼取山
鬼取町
鬼取町茶店
国道308
髪切
慈光寺一の分岐
旧古道へ
鬼取町への分岐
枚岡駅
東大阪市
生駒市

国道308号線・奈良街道暗峠越 Walk 高低差表　2015.1.25.

近鉄枚岡駅 － 国道308 － 髪切・慈光寺 － 暗峠 － 国道308 － 鬼取町 － 生駒駅





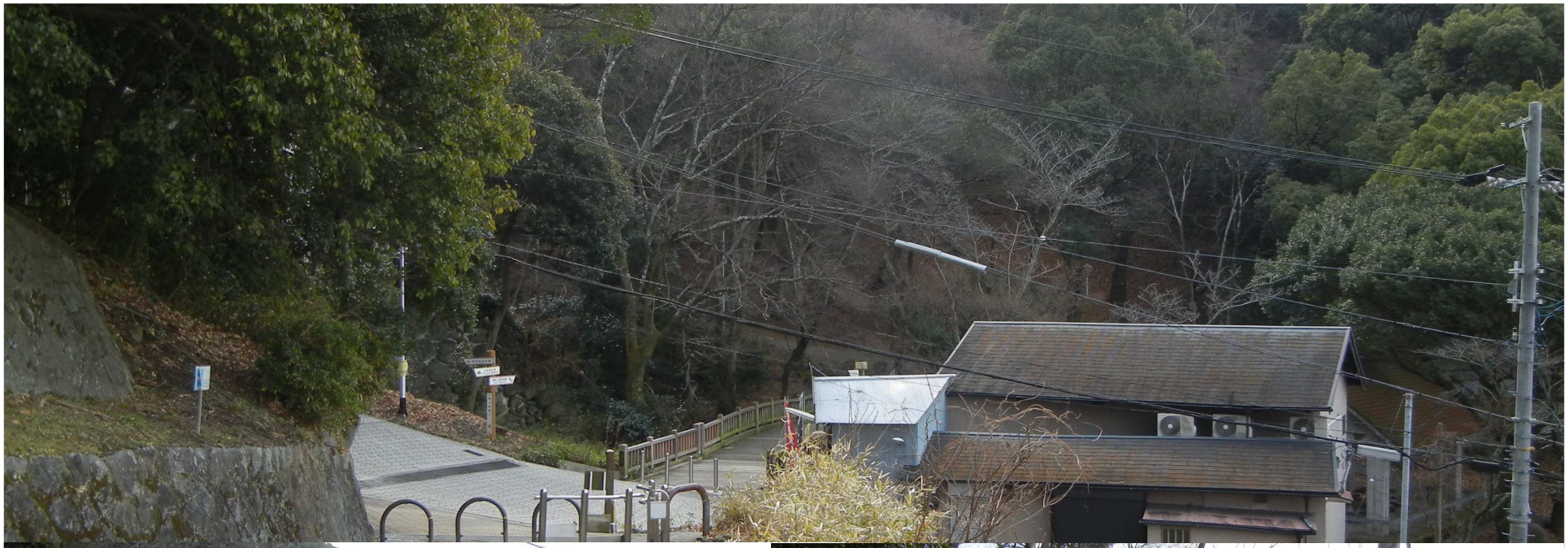


「生駒山の鬼伝承を訪ねるwalk」の出発は近鉄奈良線「枚岡駅」から　2015.1.25.



近鉄枚岡駅のすぐ東　生駒山の山際に河内国一宮　枚岡神社　2015.1.25.


祈祷・各種受付
奉納
奉納







12:00　枚岡神社の本殿の横から北へ山裾の遊歩道を抜け、
椋ケ根橋を渡ると暗峠越の国道308に出る。 2015.1.25.


険しい生駒山を越える 日本一の急坂酷道･国道308号線
暗峠越奈良街道(旧伊勢本街道)　東大阪市東豊浦 - 暗峠 - 生駒市西畑町-
一般国道308号
八王-64
12:02 平岡神社からぬけてきた道　椋ヶ根橋周辺　2015.1.25.


生駒山山上
鬼取山
元鶴林寺跡
鶴林寺
鬼取町茶店
国道308
慈光寺
旧暗峠道
枚岡神社
枚岡駅
慈光寺ーの分岐
旧古道へ
鬼取町への分岐
西畑町入口
暗峠
Image © 2015 DigitalGlobe
Google
生駒山山上
暗峠
鷲切
枚岡神社
ケーブル宝山寺駅分岐
鶴林寺
鬼取町茶店
西畑町入口
鬼取町への分岐
慈光寺
旧暗峠道暗峠
慈光寺ーの分岐
旧古道へ
国道308
枚岡神社
枚岡駅



これが国道??　幅の狭い急坂が生駒山の稜線上の暗峠目指して　一機に登ってゆく

暗峠まで全線　道路には輪の窪みのすべり止め　下りは本当に怖そう　2015.1.25.

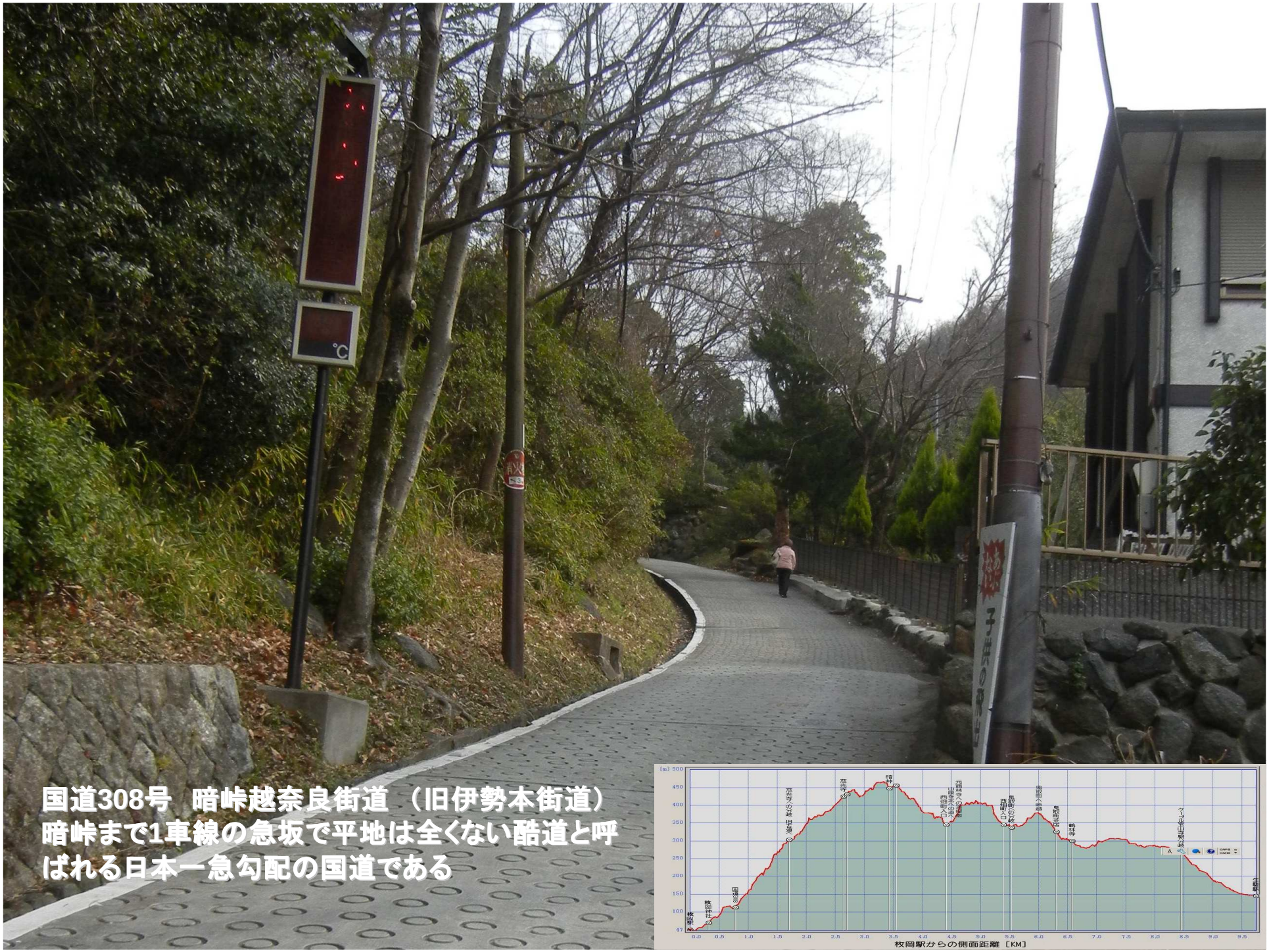




東大阪市東豊浦町にある勧成院の海抜が100m、暗峠の海抜は450mと高低差が大きい。そのため平均斜度は20%、最大斜度は37%と、自動車通行可能な国道としては日本一の急勾配になっている。

国道308号　暗峠越奈良街道　（旧伊勢本街道）

枚岡神社からぬけてきた道　椋ヶ根橋　　2015.1.25.



国道308号　暗峠越奈良街道　（旧伊勢本街道）
暗峠まで1車線の急坂で平地は全くない酷道と呼ばれる日本一急勾配の国道である


暗峠
街道
椋ヶ根橋
N-14
長持石前





大社の滝　禊行場



12:21 観音寺　古い時代の暗越奈良街道はこの観音寺の中を通っていたという 2015.1.25.









谷筋が急激に狭まり、谷筋がここから90度 左にカーブ し、谷を渡る額田橋の左手に
不動明王の石仏、 右に赤い鳥居の中に石仏石碑群があり、
ここで道も谷筋に沿って左へカーブしながら急坂が始まりました　2015.1.25.



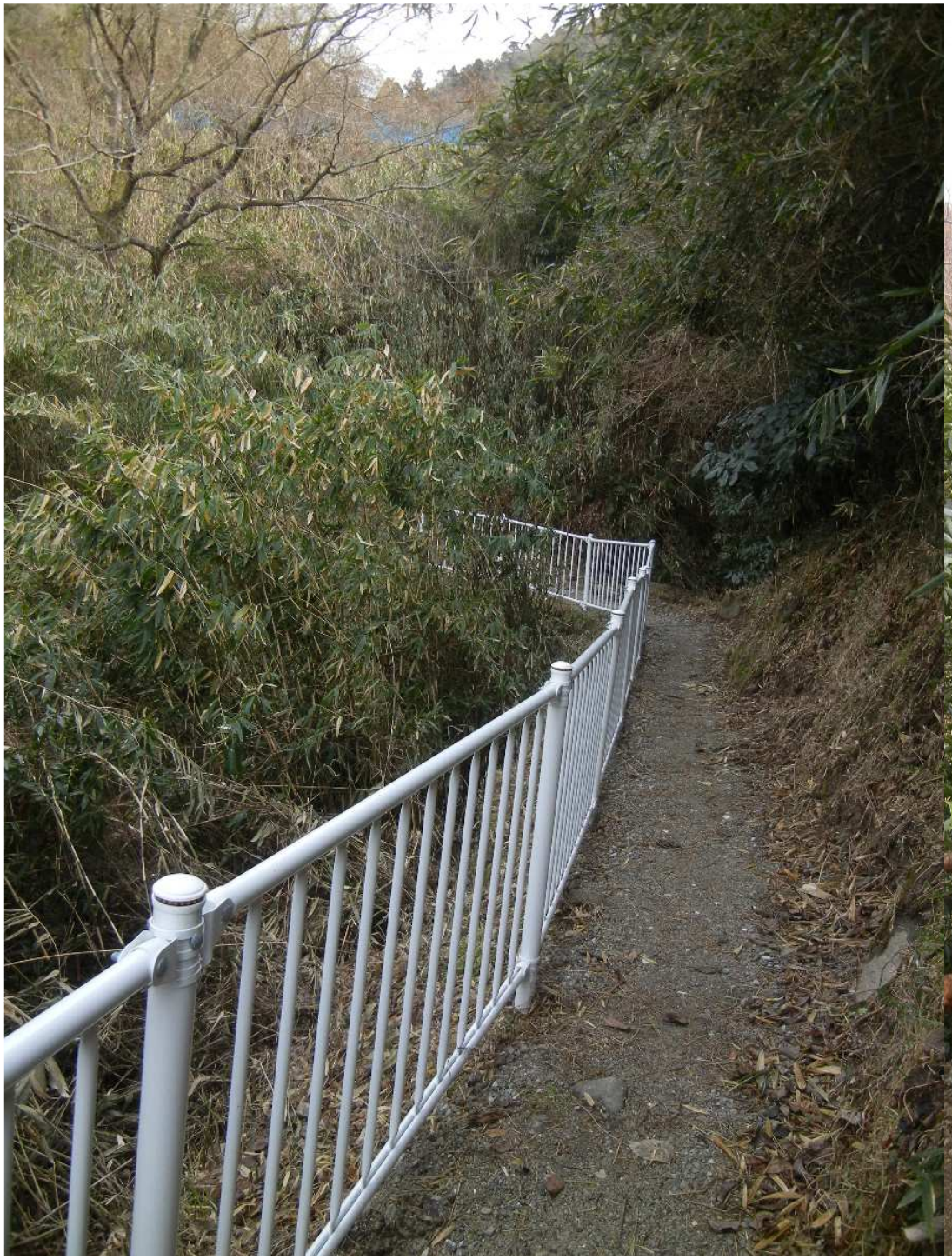
急坂を登ると左手に谷がみえ、一機に視界がひらけ、山頂部周辺が見え、
左手に慈光寺へ下る谷筋道の道標が見えてきた。2015.1.25.

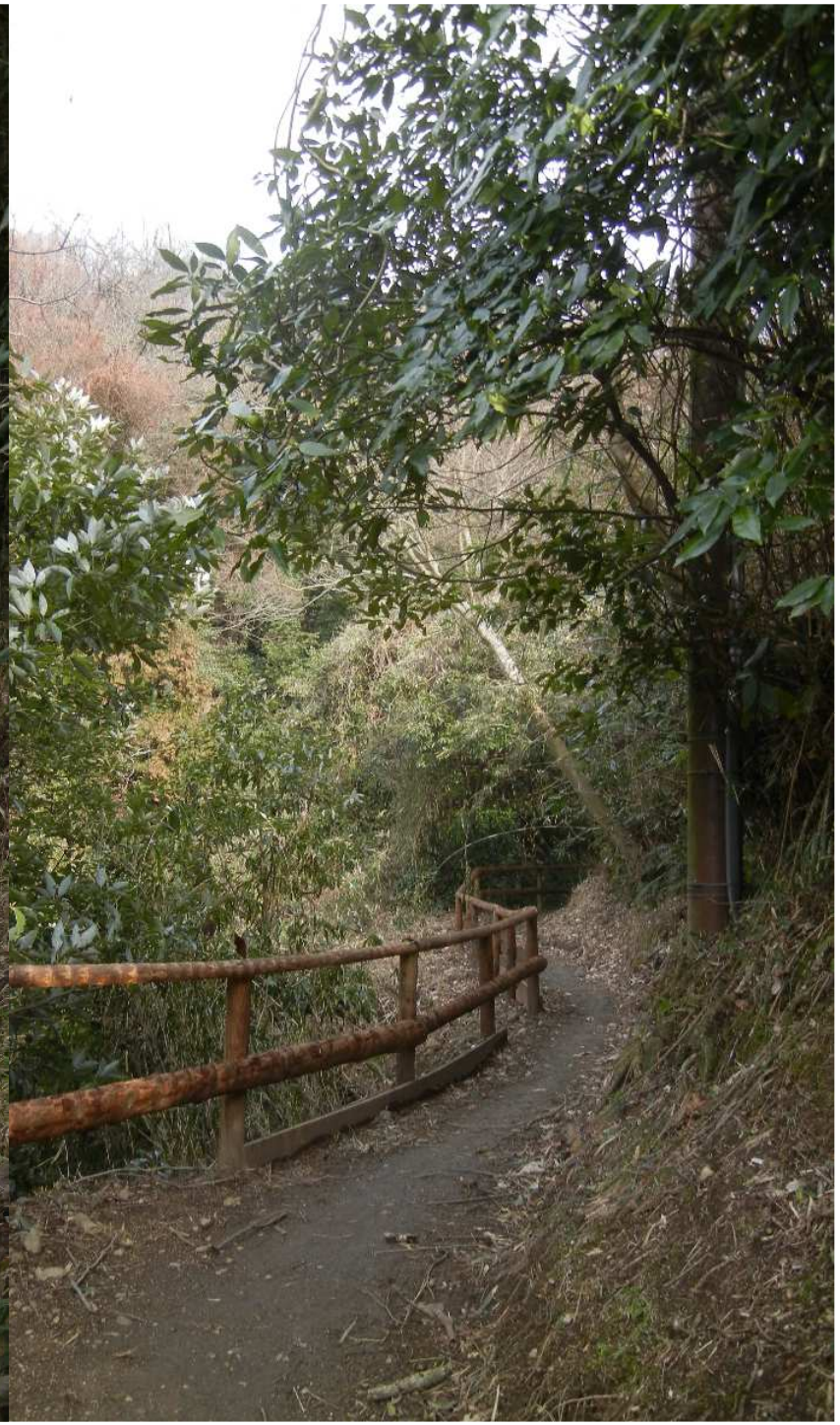


12:30　髪切山慈光寺への入口道標　2015.1.25.


生駒山の鬼伝承地　髪切山 慈光寺
1300年前、髪切の里には鬼の夫婦が住み、食べ物がなくなると暗峠越えの街道で旅人を襲い、喰っていた。しかし、役行者が密教の法力を使って鬼を捕らえ、仏法を説いて改心させたところ、鬼は非を悔いて髪を切り、行者に従ったとか。 役行者は鬼が髪を切ったこの地にお堂を建立。 髪切山慈光寺といい、この集落を「髪切集落」という。
役行者に従うこの鬼が大峰山の前鬼・後鬼である。また、役行者をまつる慈光寺開山堂春の「戸開式」（3月第三土曜日）と秋の「戸閉式」（9月第三土曜日）には、青鬼と赤鬼に扮装した二人と修験者が石段を駆け上って、開山堂の鍵を開け、役行者尊像が開帳される。
なお、髪切集落をかつて伊勢本街道・奈良街道暗峠越の街道が通り、繁栄した集落だった。
国道308
旧伊勢本街道・暗峠越
枚岡神社
枚岡駅
古道・暗闇峠越道
鬼伝承の髪切山
慈光寺
慈光寺一の分岐
旧古道へ
現在地
暗峠
暗峠茶店
府民の森
山手町
東豊浦町
上四条町
出雲井町
現在地











役行者の鬼伝承が残る髪切集落　左手の山が髪切山　2015.1.25.

12:50　視界の開けぬ谷筋･溜池に沿って付けられた細い道を抜けると
急に山々に囲まれた中に棚田が広がる集落　鬼伝承の慈光寺がある髪切集落にでた



役行者の鬼伝承が残る髪切集落　2015.1.25.

東大阪市街地から見えていた生駒山の山上を東西にわたってゆく鉄塔がすぐそこ



役行者の鬼伝承が残る髪切集落　2015.1.25.

東大阪市街地から見えていた生駒山の山上を東西にわたってゆく鉄塔がすぐそこ



Google earthの鳥瞰写真でみると すぐ上が生駒山の
稜線で枝尾根を挟んですぐ右が暗峠。
小さな谷筋のドン突きが髪切集落で、
かつてはこの谷筋を暗峠越の街道が通っていたようだ。



役行者
鬼伝承が残る
髪切集落

慈光寺の左手の山が髪切山。集落内を歩く数人の観光客以外人影のない。 ふと気づくと姿は見えないが、猿の鳴き声が響き渡る。山中に埋没した限界集落との感じがつよい。
細いが暗峠からの車道も入り、枝尾根を一つ越えれば暗峠の街道。
心配はいらないのだろう。 ほととぎすなど野鳥の名所だそうだ。


振り返ると遠く東大阪のビル群がかすんでいました 2015.1.25.



棚田の上　もう10軒にも満たない髪切集落　この一本道が街道筋??　2015.1.25.



全く人の気配がなく、静まり返った髪切集落の中を抜けて　一番奥の慈光寺へ　2015.1.25.



全く人の気配がなく、静まり返った髪切集落の中を抜けて一番奥
役行者が開祖という慈光寺へ　2015.1.25.


慈光寺



髪切集落　道の奥に屋根が見えているのが慈光寺のようだ。 2015.1.25.
もう家並みはなくなっているが、道筋には立派な石垣が続く。



13:04 鬼伝承の残る髪切山慈光寺　2015.1.25.



慈光寺の前からは　東大阪の市街地が遠く霞んでいました　　2015.1.25.

慈光寺

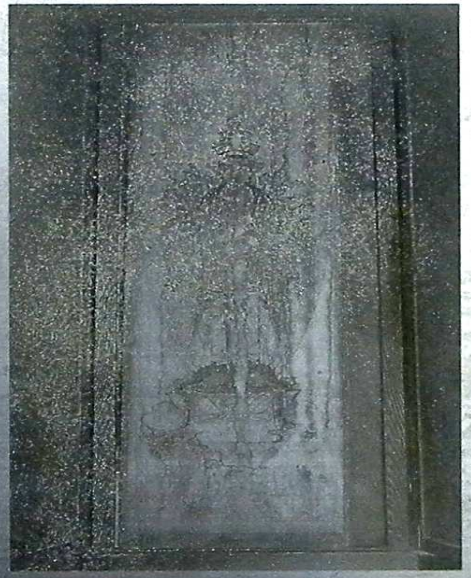
真言毘盧舎那宗に属し、役行者が生駒山中で鬼を捕らえ、髪毛を切って改心させたとの伝説から髪切山と号します。梵鐘の銘文によると、寺にはもと承保2年(1075)鋳造の銅鐘があったことが刻まれており、平安時代より存在した寺であることが知られます。

堂宇は、天正年間に兵火によって焼失したとされ、その後寛文6年(1666)に再興、江戸後期にはホトトギスの名所として知られ、現在は境内が府の名勝に指定されています。享和元年(1801)の『河内名所図会』には、現行者堂の位置に本堂、現本堂の位置に観音堂、他に方丈、鎮守が描かれています。また古来、本寺には奥ノ坊など子院6坊が存在したとされ、かつては広大な寺域と多数の僧坊を有していたことが伺われます。



「河内名所図会」に描かれた慈光寺

鐘楼に吊るされた梵鐘は、鎌倉時代の正応2年(1289)に鋳造された市内最古の銅鐘です。また、行者堂にまつられている板絵著色千手観音図は、高さ154.2cm、幅48.2cm、厚さ1cmの檜板の周縁を墨と朱で縁取りし、板面に胡粉を塗り十一面千手観音像を描いています。背面には、天文18年(1549)の年号とともに寺の歴史が墨書されています。銅鐘、板絵は府の文化財。このほか境内には天正19年(1591)の花崗岩製十三仏板碑が残されています。



板絵著色十手観音図

平成15年3月

東大阪市

髪切山慈光寺に残る役行者鬼伝承





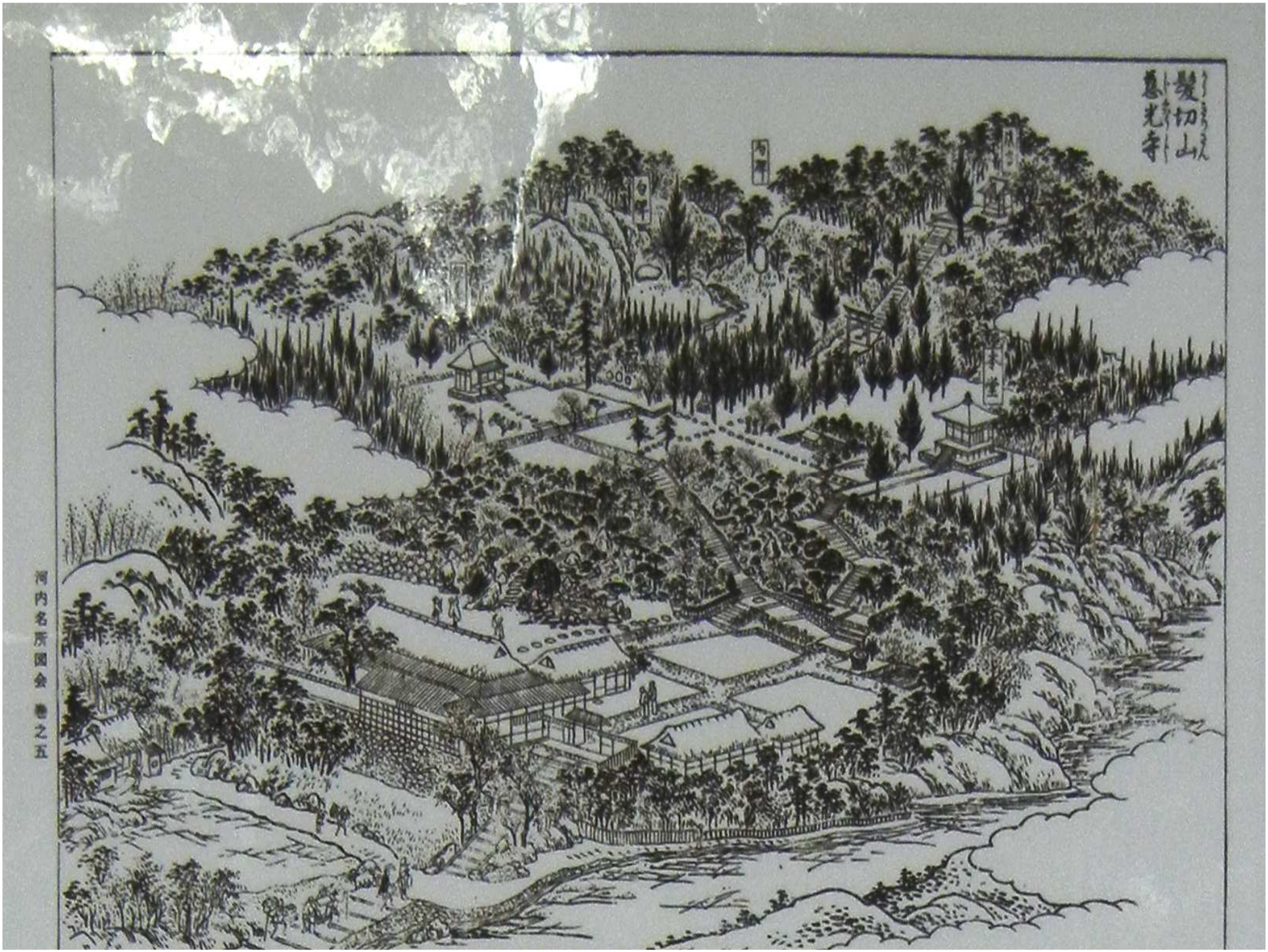
役行者をまつる慈光寺開山堂　と3月戸開式で開山堂へ向かう赤鬼・青鬼

大和（奈良）から、河内を経て難波（大阪）に至る古道の国境に位置する暗峠（くらがりとうげ）。江戸時代には俳聖・松尾芭蕉をはじめ、多くの旅人が行き交ったというこの峠から近い髪切の里に、真言宗の古刹・慈光寺がある。
1300年前、髪切の里には鬼の夫婦が住み、食べ物がなくなると暗峠越えの街道で旅人を襲い、喰っていた。しかし、役行者が密教の法力を使って鬼を捕らえ、仏法を説いて改心させたところ、鬼は非を悔いて髪を切り、行者に従ったとか。
その地にお堂を建立したのが慈光寺。
境内は府の名勝に指定。春の「戸開式」（3月第三土曜日）と秋の「戸閉式」（9月第三土曜日）には、青鬼と赤鬼に扮装した二人と修験者が石段を駆け上って開山堂の鍵を開け、役行者尊像が開帳される。

Yahoo ブログ 「きままにのんびり」より
http://blogs.yahoo.co.jp/hanamizuki2996/34899726.htm




寄贈 大本山光明講有志一同



河内名所図会　巻之五

髪切山
聴時鳥

つくもがみ
月もやゝ
おそき夜ぶ
なりぬらん
時かくらん
しらせがほ
なる

藤為

ぬば玉の
月もさやか
なる夜半
なれば
雲はどこへ
かけも
かくれず

藤為



髪切山慈光寺　峠より三町許北にあり。真言宗。本尊、役行者。御自作。右に宝剣、左に独鈷を持す。観音堂　本堂の北にあり。正観音を安す。行者こゝに練行の時、当山坤の方四町に於て感得し給ふ。今、其地を観音嶽といふ。

鬼髪田　観音嶽の麓にあり。今、精心田といふ。

五子塚　当山にあり。行者の従者五子の塚ならんか。

鎮守　山王、八幡、春日を祭る。

夫、役優婆塞は、和州葛上郡、茅原邑の産也。母の夢に、独鈷空より降て口に入と見て、忽、妊身し、舒明帝六年正月朔日、誕し給ふ〔寺記〕、同帝三年辛卯十月廿八日丑刻、出誕すとあり。七歳にして、始て慈教呪を誦する事、日々十万遍。少りし時より、聡明叡智にして、修験道を尊信し、年三十二歳の時、家を棄て、葛城山に入て、巌窟に安居する事三十余年、藤葛を衣とし、松子を食に充て、神呪を誦し、白雲に駕して、仙府に遊遊し、鬼神を駆逐して使命とし、日域の霊嶽を修歴せずといふ事なし。ある時は筑面の滝に入て龍樹大士に謁し、又は金御嶽に登り、葛城の石橋に一言主神を促す。神異好奇、測るべからず。天智帝の御時、胆駒山の深渓に鬼賊有て、往返これが為に凶害せらる。行者、これを憫て、其両鬼を捕て呪縛す。其地を、今、鬼取山といふ。行者、竟にかの鬼髪を鍵んで、此地の巌陵に圧み、両の役使となし、金峰山に入給ふ。前鬼、後鬼これなり。行者、その頃、遙岑に泊し、其西嶺に光明耀々たり。これをあやしみ認見るに、金容の大悲、儼然たり。これを本尊とし、一宇を営して、山を髪切と称し、寺を慈光寺と云。其景象は、東に大和の碧嶽、西に難波の滄浪を湛て、日想観の便なきにしもあらず。月は皎々として千岩の水を訪ひ、風は凛々として松林に琴を弾ず。嘗て聞、むかしは、三千の寺田、六宇の僧房あり。東海三たび桑田となる習ひ、元亀の兵燹に罹て、仏閣荒暴して、今、僅に存す。旧苑荒台楊柳新なりとは、此あたりの覧古なるべし。

当山は郭公の名所とて、難波津及び遠近の騒人、卯月、さ月の間、こゝに来ッて泊し、風流を詠じて、草稿を寺に認む。清少納言子規の言葉に、木々のこの葉まだしげうはならで、わかやかに青みたるに、霞も霧もへだてぬ空のけしきの、なにとなくそゞろにおかしきに、少し曇りたる、夕つかた、よるなど、しのびたるほとゝきすをとのふ。そら耳かとおぼゆるまで、たど〳〵しきをつけたらんは、何のこゝちかはせんと、此風韻に魁をせられて詞なし。毎年、遠近の俳士こゝに聚りて、蜀魂の句を作り、これを枠にして配りけるとなり。

日々の風客に
子規は其風流の声またむ

髪切山主　花亭





開祖役行者をまつる開山堂　今年の戸開式は3月22日　扉は閉ざされていました。



髪切山 慈光寺本堂　2015.1.25.





13:17　慈光寺の奥からそのまま暗峠へ続く山道　2015.1.25.







暗峠・旧奈良街道　暗峠まで0．4キロの道標







山腹の林の中を抜けてゆく山道を抜けてゆくと急に明るくなって暗峠へ



奈良街道暗闇峠越　暗　峠　2015.1.25.　中央左:生駒市　右:東大阪市

歩いてきた道は生駒山の稜線の道で、正面の東西に並ぶ家並みは
奈良街道国道308号線　暗峠の家並みでした。





13:30　国道308　奈良街道暗峠越　暗峠へ出る



13:30　国道308　奈良街道暗峠越　暗峠(1)



13:30　国道308　奈良街道暗峠越　暗峠(2)



国道308　奈良街道暗峠越　暗峠街道筋の家並み







国道308　奈良街道暗峠越



峠から少し大阪側へ下りてみる　2015.1.25.


峠から少し大阪側へ下りたところで　カワセミ? が電線に　2015.1.25.



峠から少し大阪側へ下りたところで　カワセミ? が電線に　　2015.1.25.

髪切の集落では野猿の声が響き渡り、街でみかけぬ野鳥が幾つか・・・
生駒山は険しい分だけ　自然が残されているのだと



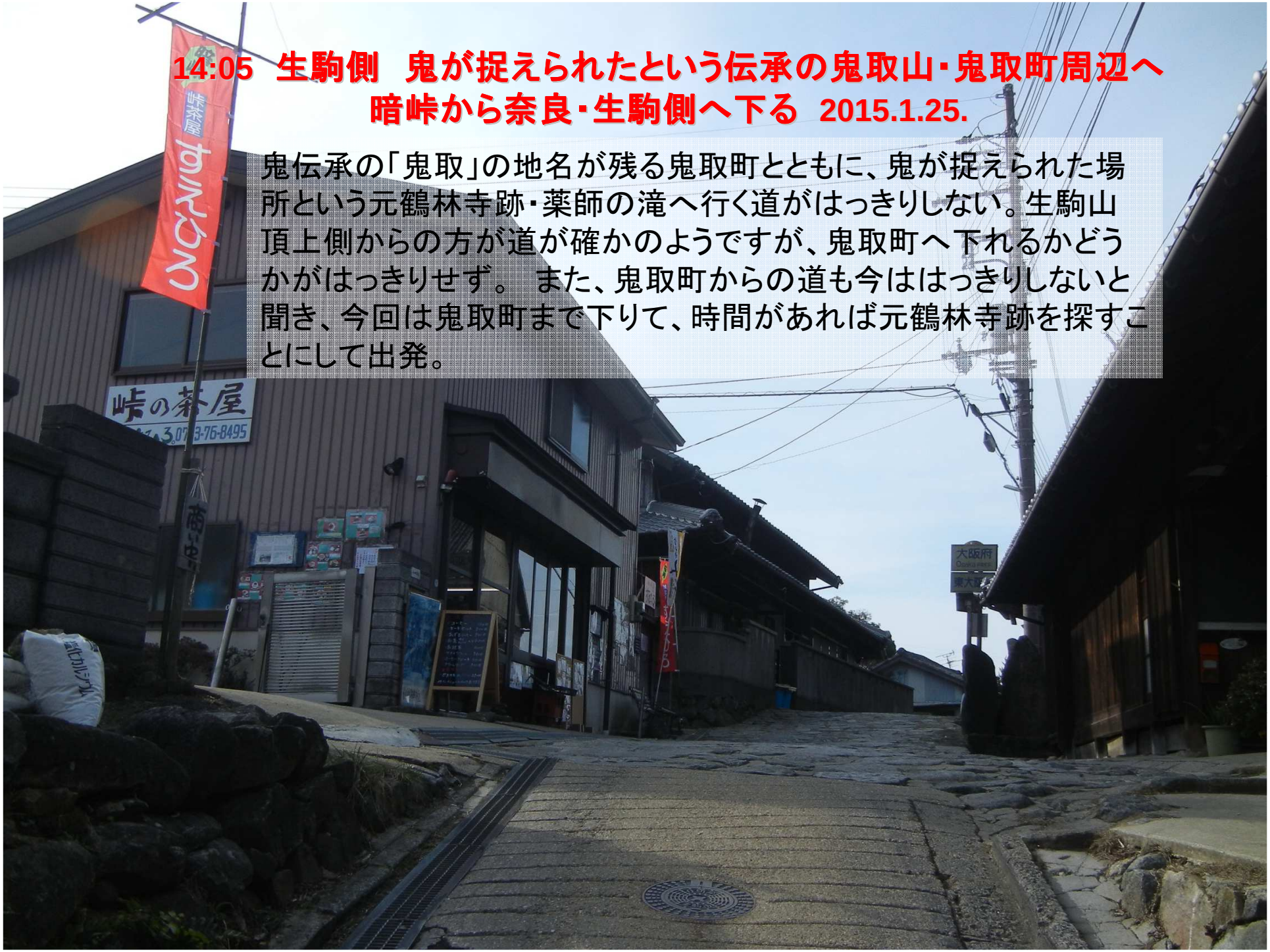
暗峠　東大阪側　出迎え地蔵　　2015.1.40.



再度暗峠に戻ってくる　2015.1.25.



暗峠　すぐ生駒側に右手に峠の茶屋　時間を見ると13:45
生駒側の鬼が捕まったという鬼取山・元鶴林寺周辺の情報を教えてもらうことも兼ねて遅い昼食に



14:05　生駒側　鬼が捉えられたという伝承の鬼取山・鬼取町周辺へ
暗峠から奈良・生駒側へ下る　2015.1.25.

鬼伝承の「鬼取」の地名が残る鬼取町とともに、鬼が捉えられた場所という元鶴林寺跡・薬師の滝へ行く道がはっきりしない。生駒山頂上側からの方が道が確かのようですが、鬼取町へ下れるかどうかがはっきりせず。 また、鬼取町からの道も今ははっきりしないと聞き、今回は鬼取町まで下りて、時間があれば元鶴林寺跡を探すことにして出発。


生駒山山上
鬼取山
元鶴林寺跡
鶴林寺
鬼取町茶店
国道308
旧暗峠道
慈光寺
枚岡神社
枚岡駅
慈光寺一の分岐
旧古道へ
西畑町入口
鬼取町への分岐
暗峠
第二阪奈有料道路
鬼伝承の鬼取山
元鶴林寺跡
小倉寺町
古道・暗峠越道
鬼伝承の髪切山
慈光寺
慈光寺一の分岐
旧古道へ
鬼取町への分岐
西畑町入口
暗峠茶店
府民の森
国道308
旧伊勢本街道・暗峠越
枚岡神社
鶴林寺
鬼取町茶店

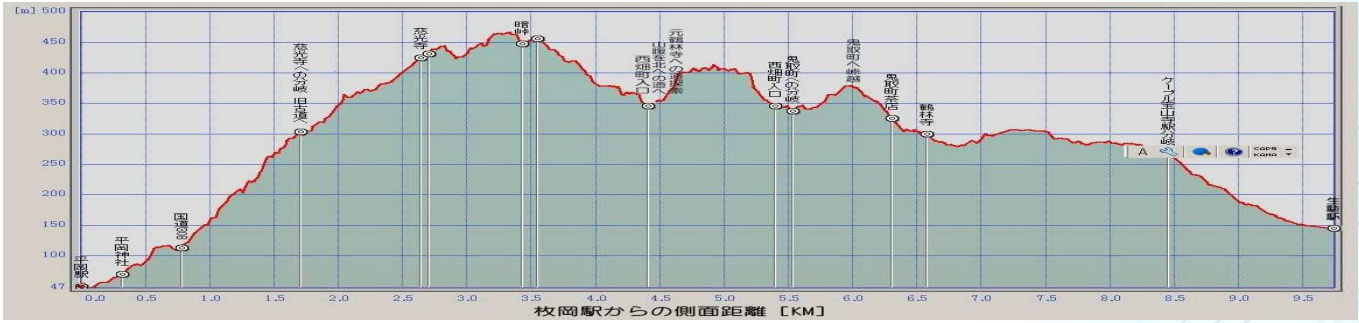
生駒山の鬼伝承地
鬼取山　鬼取町周辺

1300年前、髪切の里には鬼の夫婦が住み、食べ物がなくなると暗峠越えの街道で旅人を襲い喰っていた。しかし、役行者が密教の法力を使って鬼を捕らえ、仏法を説いて改心させたところ鬼は非を悔いて髪を切り、行者に従ったという。
鬼の髪を切った地が生駒山の東大阪側　暗峠を北西に少し下った髪切山慈光寺。鬼が役行者に捕らえられた鬼取山は暗峠を東に少し下った生駒谷側の北方山腹の鬼取(現在は生駒市鬼取町)で、鬼取町の鶴林寺の元の寺のあった場所（元鶴林寺跡）だという。
鬼取集落の鶴林寺は山号は鬼取山といい、薬師十二神将を祀る小さなお堂と建物の基壇跡らしいものがひっそりと残るだけであるが、この寺は近世に生駒山頂の東斜面に深く刻まれた谷奥から移されて来たもので、いかにも鬼の住処伝承が誕生しそうな「薬師の滝」あるいは「八大竜王の滝」附近の霊場附近が、旧鶴林寺跡といわれている。



暗峠　生駒側　鬼取町へ下る　　2015.1.25.

峠の茶屋から、信貴生駒スカイラインをくぐって生駒へ
国道は大阪側と変わって展望のきく広い道路。でも急坂が続く。





暗峠　生駒側　鬼取町へ下る　　2015.1.25.

峠の茶屋から、信貴生駒スカイラインをくぐって生駒へ
国道は大阪側と変わって展望のきく広い道路。でも急坂が続く。




暗峠遠望　奈良･生駒市側　国道308　　2015.1.25.



暗峠　生駒側　鬼取町へ下る　　2015.1.25.

正面に生駒の平地そしてその奥山向こうに奈良盆地が霞んで見えている









暗峠の下　奈良・生駒市側　　2015.1.25.



西畑町の集落の入口　生駒山のパラボラが見え、鬼取り山周辺だと　14:20

高さから見ると随分下った。　道があるかどうかわからないが、左へ折れて集落の中を山腹を奥へトラバース。だめもと鬼取町へも抜けられるだろうと気楽に道を折れたのですが・・・・



鬼取山遠望　国道308　西畑町の入口で　2015.1.25.

西畑町から　鬼が捉えられたという元鶴林寺跡への山腹トラバースを試みる









西畑町から眺める生駒谷の棚田　2015.1.25.

結局　西畑町のドン付き道願寺までゆきましたが、
旧鶴林寺の方へ抜ける道なくやむなく国道まで引き返しました。

旧鶴林寺跡

西畑町　道願寺

国道３０８号線

◎鬼取町入口



鬼取町

Image © 2015 DigitalGlobe

Google



14:25　　30分ほど道草を食いましたが、西畑町から峠越えで鬼取町の上へでる道に入る



西畑町から鬼取町の上へでる峠



鬼取町　正面眼下に生駒の町が望む　2015.1.25.

鬼取町は緩やかな谷筋の生駒山山腹鬼取山の斜面を切り開いて坂に沿って家並みや段々畑がつつき、ほとんど平地がない。

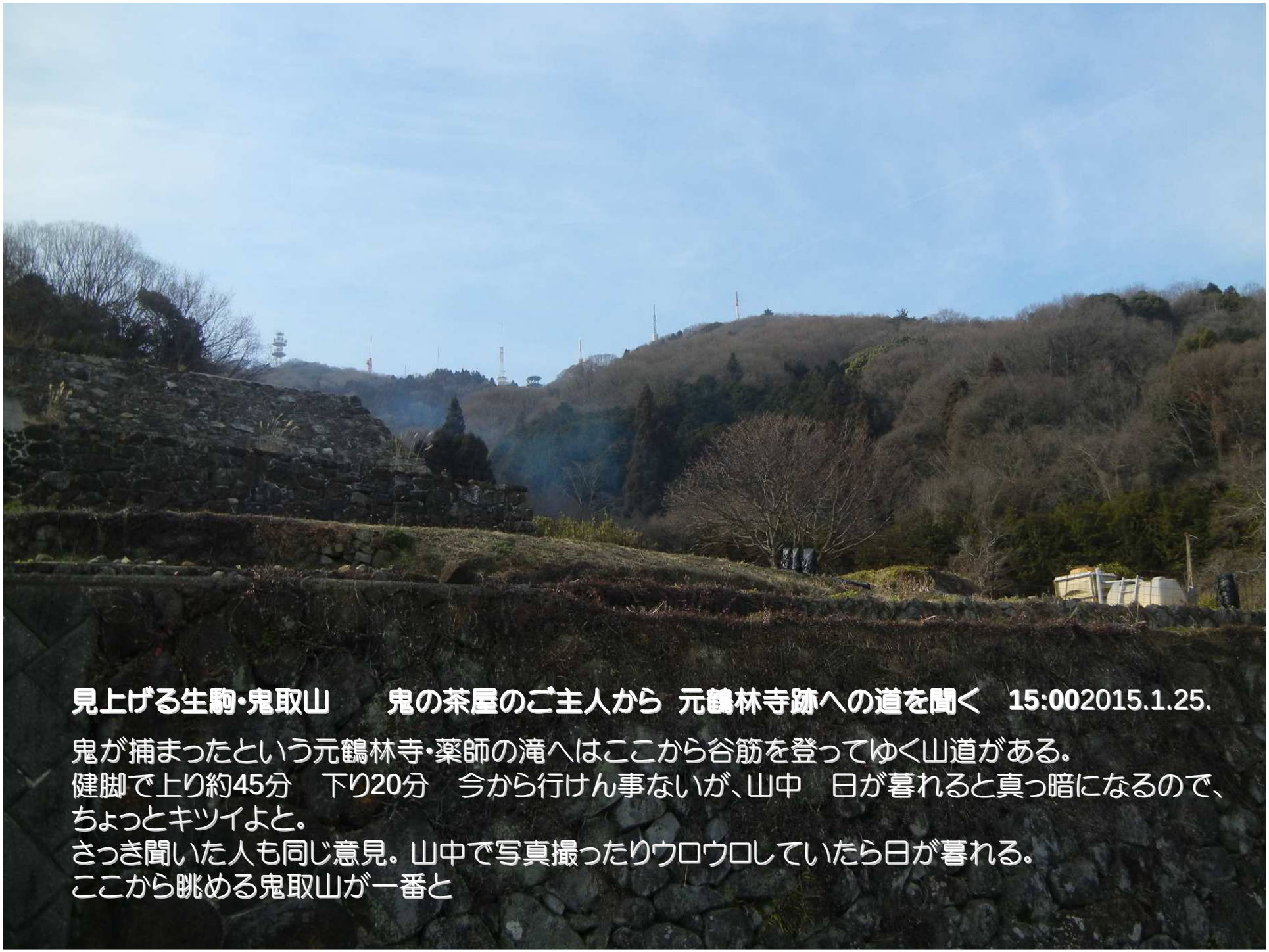


15:00 暗峠の茶屋で教えてもらった鬼の茶屋



見上げる生駒･鬼取山　　2015.1.25.　鬼取町　鬼の茶屋前より
この山中で役行者が赤鬼･青鬼を捕まえ、改心させた　それが前鬼･後鬼

生駒山が日本最古の霊場･行場であることを示す伝承でもある

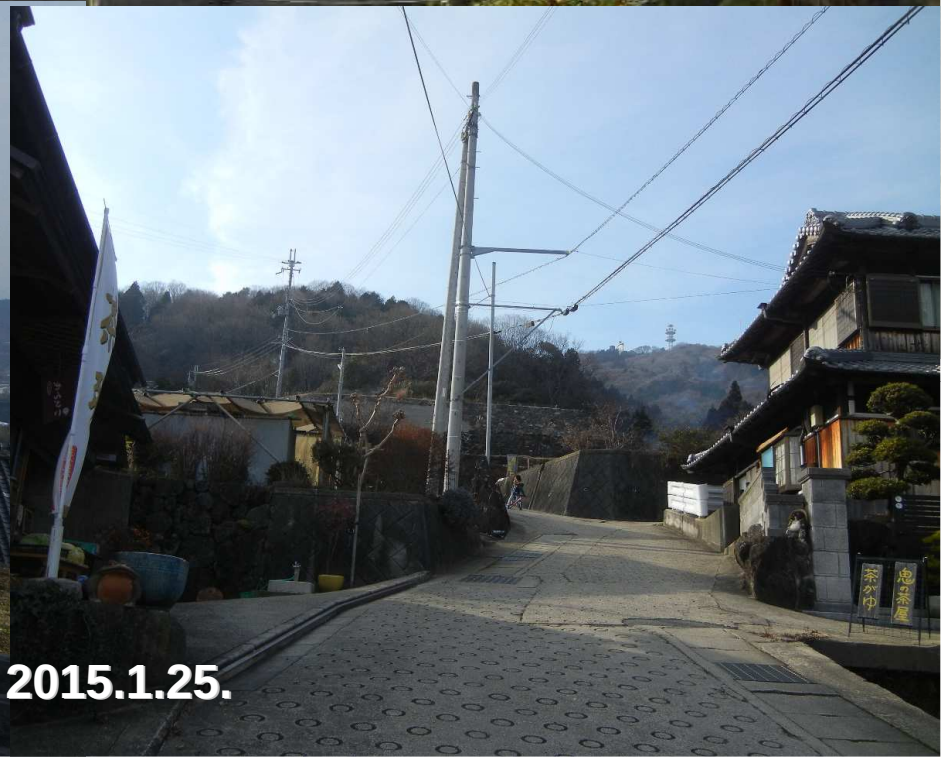


見上げる生駒･鬼取山　　鬼の茶屋のご主人から 元鶴林寺跡への道を聞く　15:002015.1.25.

鬼が捕まったという元鶴林寺･薬師の滝へはここから谷筋を登ってゆく山道がある。
健脚で上り約45分　下り20分　今から行けん事ないが､山中　日が暮れると真っ暗になるので､
ちょっとキツイよと。
さっき聞いた人も同じ意見。山中で写真撮ったりウロウロしていたら日が暮れる。
ここから眺める鬼取山が一番と







生駒市鬼取町　2015.1.25.





鬼取山　鶴林寺（かくりんじ）

Kakurinji Temple

鎌倉時代の「諸山縁起（しょざんえんぎ）」に寺名が載（の）る。山号の鬼取山は、役行者（えんのぎょうじゃ）が儀学（ぎがく）、儀賢（ぎけん）の二鬼を捕らえたという伝承による。もとは生駒山腹に伽藍（がらん）を有したが、江戸時代に現在地へ移転した。行基（ぎょうき）開基とも伝える。室町時代の六字名号板碑（ろくじみょうごういたひ）などが残る。

ふるさとの文化財を大切に

生駒市教育委員会



鬼取町から　北側を走る国道308号の方へ戻らず、
逆に生駒山の山腹を北へトラバースして、近鉄生駒駅へ　　2015.1.25.



鬼取町から生駒山の山腹に広がる住宅地を眺めながら約1時間歩いて　　16:10
近鉄生駒駅にたどり着きました









「大阪には鬼の伝承　聞かないなぁ ??」 仲間からと問われ、
よく眺める大阪のシンボル生駒山は古来からの霊峰　修験の山。そして古代　生駒山は鉱物資源帯であり、
その山麓には数多くの渡来の技術集団が住み、数々の伝承があるときく。
それらと関係して　修験の鬼の伝説があったのでは・・・・・・と。

大阪の人は知っておられたのでしょうが、この生駒の鬼が　修験の前鬼・後鬼などとは知りませんでした。
そして　その伝説の地が　よく見上げる暗峠の周辺とは・・・・
この鬼伝承と一緒に一度は越えたいと思っていた暗峠越での道をたどることが出来ました。

枚岡駅から　暗峠越して生駒駅まで　約9km　距離的には大したことないのですが、生駒の駅についた時には
足が棒のようでした。 国道308　奈良街道暗峠越　国道歩きと気楽に思っていましたが、いまさらながらきつい。
今まで見たこともない平坦道のない坂だけの道。酷道の所以。
それが逆に生駒の自然　そして修験の道　古道の道筋をそっくりそのまま残し、鬼伝承の集落も残していると。
本当に面白い古道歩きでした。また、野猿の声が響き渡り、野鳥が飛び交う森　生駒の知らなかった一面も
うれしい鬼walk　大阪の鬼Walkでした

2015.1.25.　夕　心地よい疲れを感じながら
山越えした生駒の山を今度はトンネルでくぐり抜けています
Mutsu Nakanishi

2月　節分が近づくと気になる鬼のこと

「大阪には鬼の伝承　聞かないなぁ ??」　と仲間が言う
大阪には　鬼伝承がないのでしょうか……

大阪のシンボル「生駒山」山塊は古来からの霊峰　修験の山

そして　古代　生駒山は鉱物資源帯で
その山麓には数多くの渡来の技術集団が住む

ふっと気になってチェックすると・・・・・・

いつも見ている生駒山山頂部　暗峠周辺には役行者の鬼伝説が有るという
その地には鬼取山・鬼取町　髪切山・髪切集落の地名がすぐに見つかりました

大阪にも　生駒山に鬼伝承が残っている
2月節分の鬼の時節
古道　旧伊勢街道・奈良街道暗闇峠越の生駒山の暗闇峠の古い家並み
が残る暗峠並びに鬼の伝承地を訪ねました

2015.1.25.　by Mutsu Nakanishi

生駒山暗峠周辺の髪切・鬼取の郷に鬼伝承を訪ねる　2015.1.25.

生駒山上の暗峠をはさむ大阪側　東大阪市髪切　奈良側生駒鬼取
大阪河内と奈良の境を形成して南北に連なる生駒山塊は高さこそ低いが、険しい山で、古くから修験・霊場の山として信仰を集め、山中には今も数多くの霊場・行場がある信仰の山としてよく知られている

国道308号線・古道　奈良街道が生駒山を越えてゆく暗峠周辺の山腹には
「修験道の開祖 役行者が改心させ、従者にした赤鬼・青鬼」の鬼伝承の郷がある


慈光寺の鬼面

